

平成28年度教育要覧

川島の教育



～豊年踊りを楽しもう会～（三保谷小学校）



～食育ボランティア講座～（保健センター）

川島町教育委員会

【表紙写真説明】

◆～豊年踊りを楽しもう会～（三保谷小学校）

平成27年6月30日に三保谷小学校体育館で「豊年踊りを楽しもう会」を行いました。
地域のほなみ会の方をお招きして全員が心をそろえ、楽しそうに踊りました。

◆～食育ボランティア講座～（保健センター）

平成28年3月16日に武蔵丘短期大学の島野先生を講師に迎え、
川島町保健センターで、一般成人25名の参加をいただき、調理実習を行いました。
盛り付けにも工夫を加え、バランスの良い健康的な調理方法を学びました。

はじめに

川島町は、「川島町民憲章」（昭和59年11月3日）の1項目に「かわじまの宝だ伸ばせ子供たち」を掲げ、町を挙げて子供たちを育成しています。

また、「川島町スポーツ都市宣言」（昭和52年1月）と「生涯学習推進のまち宣言」（平成4年11月）により、全国・全県に先駆けて、町を挙げて「生涯学習・生涯スポーツ」の充実・振興に取り組んできました。

さて、川島町教育委員会は、昨年10月4日から、新教育委員会制度に移行し、新教育長と4名の教育委員による教育委員会会議を定期的を開催するとともに、教育総務課・生涯学習課の2課で教育委員会事務局を組織し、小・中学校や社会教育施設が一体となって教育行政を推進しています。

また、新教育委員会制度に基づき、「町長と教育委員による総合教育会議」を開催して、平成28年2月に「川島町教育大綱」を策定しました。この「教育大綱」の骨子に基づき、3月には「平成28年度川島町教育行政重点施策」を策定し、教育行政を推進しています。

川島町は、学力向上が喫緊の課題であることから、平成28年を「学力向上元年」と位置づけて、教育委員会と学校とが一体となって、子供たちの学力向上を目指して、総合的な新規事業「川島方式子ども学習支援システム」などに積極的に取り組んでいます。

川島町のもう一つの大きな課題は「少子化の進行した小学校を対象とする学校規模の適正化」です。平成28年第1回川島町議会定例会（3月）で、「川島町立小中学校設置条例の一部を改正する条例」が可決・成立し、三保谷、出丸、ハッ保、小見野の4小学校を平成30年3月31日で廃校し、同年4月1日付けで現在の三保谷小学校の位置に「（仮称）三保谷・出丸小学校」を、ハッ保小学校の位置に「（仮称）ハッ保、小見野小学校」を設置することが決定しました。

平成28年5月、「統合協議会」をスタートさせ、平成30年度の統合に向けて協議を重ねるとともに、統合に係る諸事業を進めることにより子供たちや教職員の教育活動を通じた交流を活発に進めます。

この平成28年度教育要覧『川島の教育』は、本町の教育に係る各種データ・資料を網羅しています。川島教育の充実・推進のために、ご活用くださるようお願いします。

平成28年6月

川島町教育委員会教育長 中村 正宏

目 次

- 川島町民憲章・川島町スポーツ都市宣言 …………… 1
- 生涯学習推進のまち宣言・川島町教育大綱（教育理念） …………… 2

I 町の概況

- 地勢・町の木・町の花・町の鳥…………… 4
- 町の人口・世帯数の推移 …………… 5
- 町の予算・教育費 …………… 6

II 教育行政及び学校教育

- 教育行政重点施策 …………… 8
- 教育委員会事務局事務分掌 …………… 17
- 教育委員会事務局の機構 …………… 18
- 学校概要 …………… 20
- 学校施設 …………… 28
- 児童・生徒数一覧 …………… 29
- 教職員数・児童・生徒数の推移 …………… 30
- 学校給食センターの概要 …………… 31

III 生涯学習

- 生涯学習の推進体制 …………… 34
- 生涯学習の基本目標と重点…………… 36

IV 社会教育

- 社会教育施設の概要 …………… 40
- 公民館の概要 …………… 41
- 図書館の概要 …………… 46
- 文化財の一覧 …………… 49
- スポーツ少年団・体育協会加盟団体・文化協会加盟団体一覧 …… 50

V 教育関係役職員

- 教育委員会委員…………… 52
- 教育行政関係役職員…………… 54
- 学校教育各種委員会委員…………… 56

川島町民憲章

(昭和五十九年十一月三日制定)

わたくしたちのかわじまは 古く成り立ちの
とき以来 住民の結束により発展してきました
わたくしたちは このかわじままちをこよな
く愛し 教養を高め スポーツに親しみ っ
そう住みよいまちにするため ここに町民憲章
を定めます

- 一 かわじまを守る堤は 心のきずな
- 一 かわじまを生かす きれいで豊かな自然
- 一 かわじまを築く力は 働くこの手
- 一 かわじまの伝統受け継ぎ 創ろう文化
- 一 かわじまの宝だ 伸ばせ子供たち

川島町スポーツ都市宣言

(昭和五十二年一月一六日)

わたしたち川島町民はスポーツを愛し、
スポーツを親しみ、スポーツを通じて、よ
り健康の増進を図り、よって住みよいふる
さとを建設するため次の目標をかかげて、
ここに「スポーツ都市」を宣言いたします

- 一、町民すべてがスポーツを楽しみ実践
しよう。
- 一、力をあわせてスポーツのできる場と
環境を確保しよう。
- 一、スポーツを通じて社会連帯感の高揚
を図るため、地域にも職場にもスポ
ーツの場と機会をつくろう。

生涯学習推進のまち宣言

わたくしたち川島町民は
生涯にわたり健康で楽しく学び合い
思いやりと心のきずなを大切にし
仲良く助け合う家庭をつくり
明るく心豊かな人生が送れる
ふるさと文化の香るまち「かわじま」の実現をめざします
町制20周年にあたり
「生涯学習推進のまち」とすることを宣言します

平成4年11月3日

川島町教育大綱

(平成28～32年度)

【教育理念】

『広い空、水と緑に恵まれた輪中の郷で、

たくましく心豊かな人づくり』

町の総合振興計画にある「まちが人を育み、
人がまちを育む活力と協働のまちづくり」の
基本理念を、川島町民憲章にある「かわじまを
守る堤は心のきずな」から連想し、「輪中の郷」
という言葉で表現しました。

恵まれた自然環境のもとで、学校、家庭、
地域が互いに手を取り合い一体となって、
子供たちだけでなく大人も、
豊かな人間性を育み、たくましく生きることを理念としています。



I 町の概況

川島町の概況

1 地勢

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41.63km²で、東西間11km、南北間8kmの距離となっています。標高は平均14.5mで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前からとみられており、町内にはそのころの様子がかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・八ツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行しました。

現在、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジの開通に伴い、インター周辺開発が進み、町は変革のときを迎えています。

埼玉県の地図

北緯	36° 01' 11"
東経	139° 32' 43"
東西	11.17km
南北	7.9km
平均標高	14.5m
面積	41.63km ²

町の木/もくせい

家の庭などに植えられる常緑樹です。花は秋に咲き、よい香りを漂わせてくれる昔から親しまれている木です。



町の花/はなしょうぶ

水田地帯である本町に多く植えられ、愛好されています。初夏には、紫・白・紫紅の大きな花をつける、繁殖力のあるアヤメ科の代表的品種です。

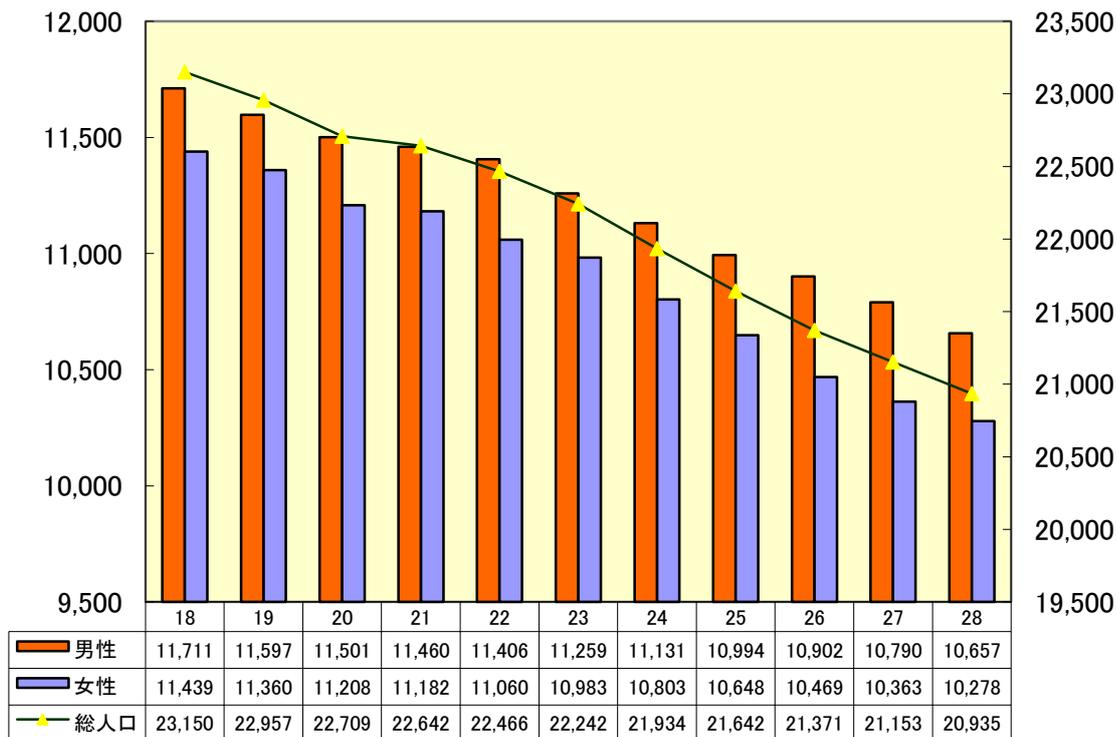


町の鳥/ひばり

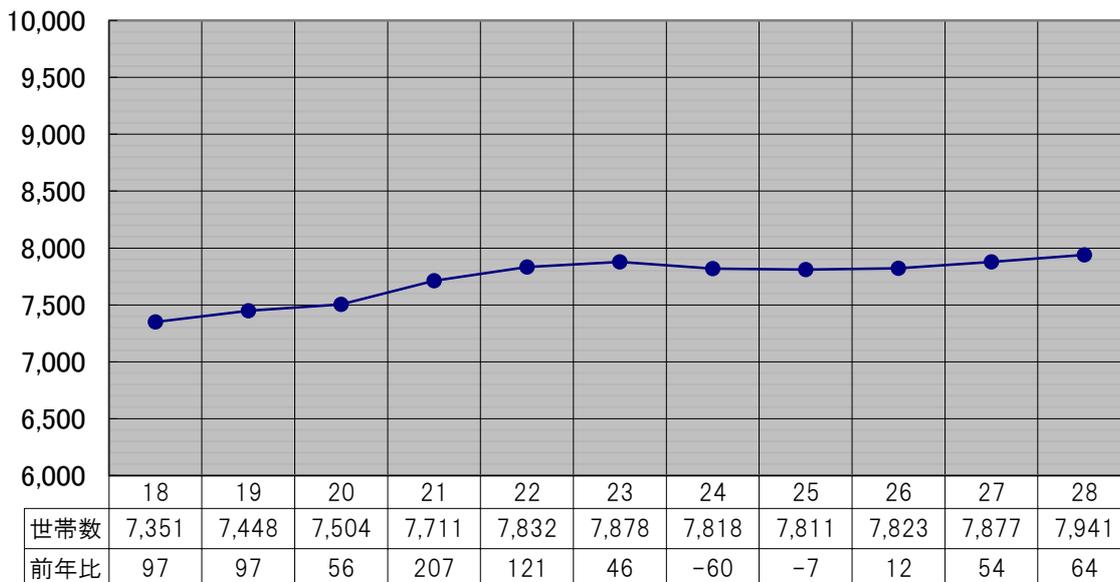
早春に、にぎやかにさえずりながら麦畑を空高く舞い上がるさまは、川島の春の風物詩ともいえます。ひばりは“あげひばり”ともいわれ、縁起のよい鳥といわれています。



2 町の人口の推移

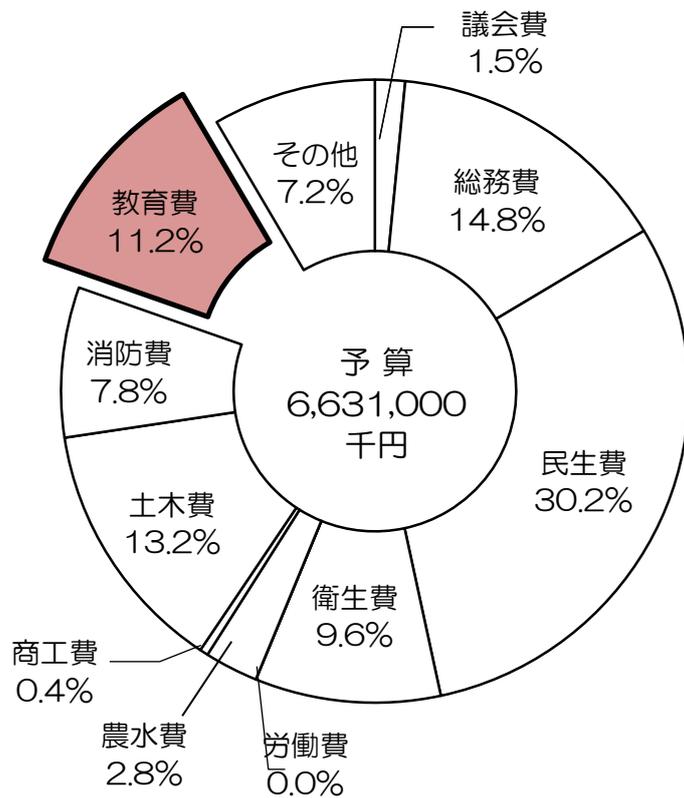


3 町の家帯数の推移



(広報かわじま「人口と世帯」各年 5月1日現在)

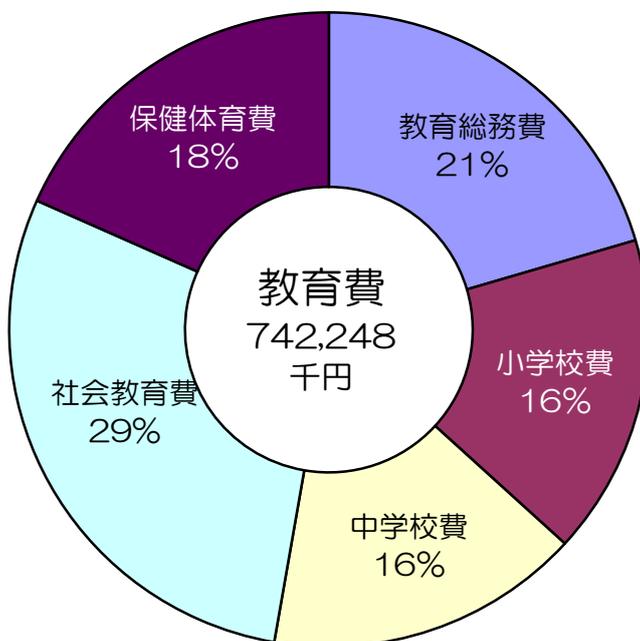
4 町の予算（当初）



議会費	102,590
総務費	984,543
民生費	2,004,830
衛生費	634,169
労働費	242
農水費	182,836
商工費	28,685
土木費	877,039
消防費	516,261
教育費	742,248
その他	557,557
計	6,631,000

単位：千円

5 教育費の内訳（当初）



教育総務費	151,796
小学校費	121,190
中学校費	118,472
社会教育費	214,700
保健体育費	136,090
計	742,248

単位：千円

Ⅱ 教育行政及び学校教育

平成28年度

川島町教育行政重点施策

川島町教育委員会は、教育が町民生活の現在及び未来に亘る社会基盤の根源であり、町政の重要施策の一つであるとの認識に基づき、人間尊重の精神を基本として、『生きる力』を育成し、町民の要請と期待に応える教育行政を推進する。

そこで、憲法及び教育基本法の精神に則り、幼児・児童・生徒の自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力の育成を図り、基礎・基本の定着と個性を生かす教育を推進するとともに、生涯学習をより一層定着し推進するため、川島町教育大綱に掲げられた教育の基本理念に基づき、教育行政の基本目標と重点施策を次のとおり定める。

【 教育の基本理念 】

『広い空、水と緑に恵まれた輪中の郷で、
たくましく心豊かな人づくり』

(説明)

町の総合振興計画にある「まちが人を育み、人がまちを育む活力と協働のまちづくり」の基本理念を、川島町民憲章にある「かわじまを守る堤は心のきずな」から連想し、「輪中の郷」という言葉で表現しました。恵まれた自然環境のもとで、学校、家庭、地域が互いに手を取り合い一体となって、子供たちだけでなく大人も、豊かな人間性を育み、たくましく生きることを理念としています。



【 基本目標 】

- 1 確かな学力の育成と質の高い学校教育の推進
- 2 学力の向上、生きる力を育成するための教育環境の整備、充実
- 3 豊かな心と健やかな体の育成
- 4 家庭・地域の教育力の向上
- 5 生きがいづくりと伝統文化の継承

1 確かな学力の育成と質の高い学校教育の推進

各学校においては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎・基本の着実な定着を図り、確かな学力と質の高い学校教育を推進する。また、一人ひとりの個性や創造性を伸ばし、豊かな心や生きる力を育む。

特に、グローバル化が進行する社会において、未来への飛躍を担うための創造性やチャレンジ精神、国境を越えて人々と交流できるための語学力・コミュニケーション能力を育む。

重点施策と主な取組

(1) 確かな学力と自立する力を育成する教育の推進

1) 学力の向上と指導方法の工夫・改善

- ◇学習状況調査等の分析と指導方法の工夫改善
- ◇校内授業研究会の実施と授業力の向上
- ◇少人数指導の推進

2) 進路指導・キャリア教育の充実

- ◇比企地区学力テスト実施に係る補助
- ◇家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施
- ◇中学生社会体験チャレンジ事業

3) 特別支援教育の推進

- ◇教育相談、就学支援委員会の充実
- ◇幼・保・小における特別支援教育の充実
- ◇共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実
- ◇発達障害などに対する支援体制の整備・充実

4) 幼児教育の推進

- ◇幼保小連携事業の推進
- ◇幼・保・小における特別支援教育の充実【再掲】

(2) 質の高い学校教育の推進

1) 教師の授業力向上に関する指導訪問・研修の充実

- ◇校内授業研究会の定期的な実施による実践的な研修の充実
- ◇学校指導訪問による教師の授業力の向上

2) 学校管理運営の改善・充実

- ◇人事評価制度の充実
- ◇学校評議員制度を活性化させ点検・評価及び評価に基づいた更新
- ◇学校評価制度の整備・充実
- ◇地域との連携の推進

3) 就学支援の充実

- ◇要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業
- ◇特別支援教育就学奨励事業
- ◇育英資金貸付事業
- ◇第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業
- ◇入園祝い金事業

4) 国際理解教育の推進

- ◇英語教育充実事業（ALT派遣、小学校外国語活動支援員の配置）
【新規】

5) 食育・環境教育の推進

- ◇埼玉県・埼玉大学との協力連携による木育推進事業（中山小学校）
- ◇みどりの学校ファームの取組

子供たちの学力向上、生きる力の育成を目的に、学校規模適正化、小中一貫教育の推進などにより、教育環境の整備・充実を図るとともに、学力の状況に応じた学力向上のための施策の充実と、教員の指導力の向上を図る。

重点施策と主な取組

(1) 教育環境の整備・充実

1) 学校規模適正化の推進

- ◇統合協議会の開催（学校の跡地・施設の有効活用の検討など）【新規】
- ◇統合対象校間の交流事業【新規】

2) 小中一貫教育の推進

- ◇小学校と中学校の連携、交流、研究事業

3) 学校施設の改修・修繕の推進

- ◇小・中学校施設耐震化の推進（西中学校校舎非構造部材耐震化）【継続】
- ◇エアコン整備事業（西中学校エアコン設置工事）【新規】
- ◇小学校防犯カメラ設置工事【新規】
- ◇川島中学校プールろ過装置交換修繕【新規】

(2) 学力向上のための施策の充実

1) 学力向上のための学校教育環境の整備・充実

- ◇私塾と連携した補充学習の充実事業【新規】
- ◇きめ細かい教育の推進事業【新規】
- ◇基礎学力向上事業（学力調査、家庭学習ノート、問題集）【拡充】
- ◇英語教育充実事業（ALT派遣、小学校外国語活動支援員の配置）
【新規・再掲】
- ◇ICT機器活用事業（タブレット端末、校内LAN、電子黒板活用の推進）
【新規】

2) 教員の指導力の向上

- ◇学力先進地講師による講演会【新規】

3 豊かな心と健やかな体の育成

地域や関係機関と連携し、豊かな人間性や社会力を育て、夢や希望に向かってたくましく生きることができるよう豊かな心を育成する。

また、いじめを始めとする様々な人権を尊重した教育を推進し、思いやりのある社会を形成する。

さらに、子供たちの体力向上に努めつつ、いつまでも健康的な生活が送れるよう、町民一人ひとりそれぞれの体力に合わせたスポーツやレクリエーションが生涯にわたり親しめるような体制の充実を図る。

重点施策と主な取組

(1) 豊かな心を育む教育の推進

1) 道徳教育の推進

- ◇道徳授業研究会の実施や担任と管理職等のTTによる授業の実践
- ◇保護者への道徳授業の公開

2) いじめ・不登校対策の充実

- ◇いじめ問題対策連絡協議会の開催
- ◇小学校と中学校の連携、交流、研究事業【再掲】
- ◇教育相談体制の充実（学校と家庭及びスクールカウンセラー、さわやか相談員、スクーリングサポート支援員との組織的連携など）

3) 豊かな体験活動の推進

- ◇埼玉県・埼玉大学との協力連携による木育推進事業（中山小学校）【再掲】
- ◇みどりの学校ファームの取組【再掲】
- ◇中学生社会体験チャレンジ事業【再掲】

4) 人権を尊重した教育の推進

- ◇「人権感覚育成プログラム」の活用の推進
- ◇人権教育・啓発研修への参加の促進
- ◇男女共同参画に関する学習活動の推進

(2) 健康づくりとスポーツの推進

1) 子供たちの健康の保持・増進

- ◇学校給食を活用した食育の推進
- ◇学校給食推進事業
- ◇学校保健教育推進事業
- ◇フッ化物洗口によるう蝕予防事業

2) 体力向上の推進と学校体育の充実

- ◇体力向上推進委員会による研究・授業研究会
- ◇日々の学校体育の充実

3) 生涯スポーツの普及・充実

- ◇ノルディック・ウォーキングの普及
- ◇かわじま輪中の郷ウォーキングの開催
- ◇各種スポーツ教室の開催

4) 保健・健康部門と連携した事業の充実

- ◇大学等の教育機関と連携した食育ボランティア講座の開催(食育指導者の発掘・育成)
- ◇成人の食に関する講座の実施
- ◇体育協会加盟団体による大会、教室の開催

4 家庭・地域の教育力の向上

生涯学習推進のまち宣言の理念を踏まえ、学校・家庭・地域が一体となった教育の推進を図るため、学校応援団の取組の活性化及び取組を支える人材の養成と育成に努め、親の学習や子育てを支える体制の充実を図る。

重点施策と主な取組

(1) 学校・家庭・地域等が連携した教育の推進

1) 「学校応援団」の充実

- ◇学校応援団活動に対する支援の検討
- ◇学習ボランティア等の効果的な活用

2) 家庭の教育力の向上

- ◇「家庭生活の約束6か条」の普及
(「早寝 早起き 朝ご飯」運動の普及・啓発、「ノーテレビ・ノーゲームの日」の推進など)
- ◇学習ボランティア等の効果的な活用【再掲】
- ◇親の学習の充実

3) 「彩の国教育の日」および「彩の国教育週間」における取組の推進

- ◇学校・家庭・地域等の連携による取組の推進
- ◇「埼玉・教育ふれあい賞」への推薦

4) 防犯教育・安全教育の推進

- ◇地域ぐるみの安全体制の確立
- ◇防犯教室の実施
- ◇交通安全教育の推進

5) 子育てに関する連携支援

- ◇民間団体や地域人材を活用した地域子ども教室の実施
- ◇子育て世代を対象とした講座の開催

生涯学習を推進させるためには、学習機会の充実、学習情報の提供、地域の指導者やボランティアの把握と育成が必要である。特に、団塊の世代を中心に増え続ける高齢者の生きがい対策に重点をおいて推進を図る。

また、地域の伝統文化を継承するために、後継者の育成や新たな文化財の指定を行い充実を図る。

重点施策と主な取組

(1) 学習環境の整備と学習機会の充実

1) 指導者の発掘

- ◇生涯学習データバンクの充実
- ◇大学等の教育機関と連携した指導者の確保と育成

2) 各種教養講座の充実

- ◇文化協会の活動支援
- ◇活動団体の主催する自主講座の開催支援
- ◇食育講座の開催
- ◇各種講座の受講支援（かわみんマムの活用）

3) 子ども会活動の充実と活動支援

- ◇指導者、育成者の研修会の実施
- ◇彩の国21世紀郷土かるた川島大会の実施

4) 公民館の活性化

- ◇公民館主催講座の充実と公民館のあり方の研究

5) 川島町立図書館の利便性の向上

- ◇情報機器を活用したサービスの充実
- ◇利用者がくつろげるスペースの整備

(2) 文化財の保護・活用

1) 伝統芸能団体の活動支援

- ◇伝統芸能団体への支援の充実
- ◇町イベント等における伝統芸能の発表

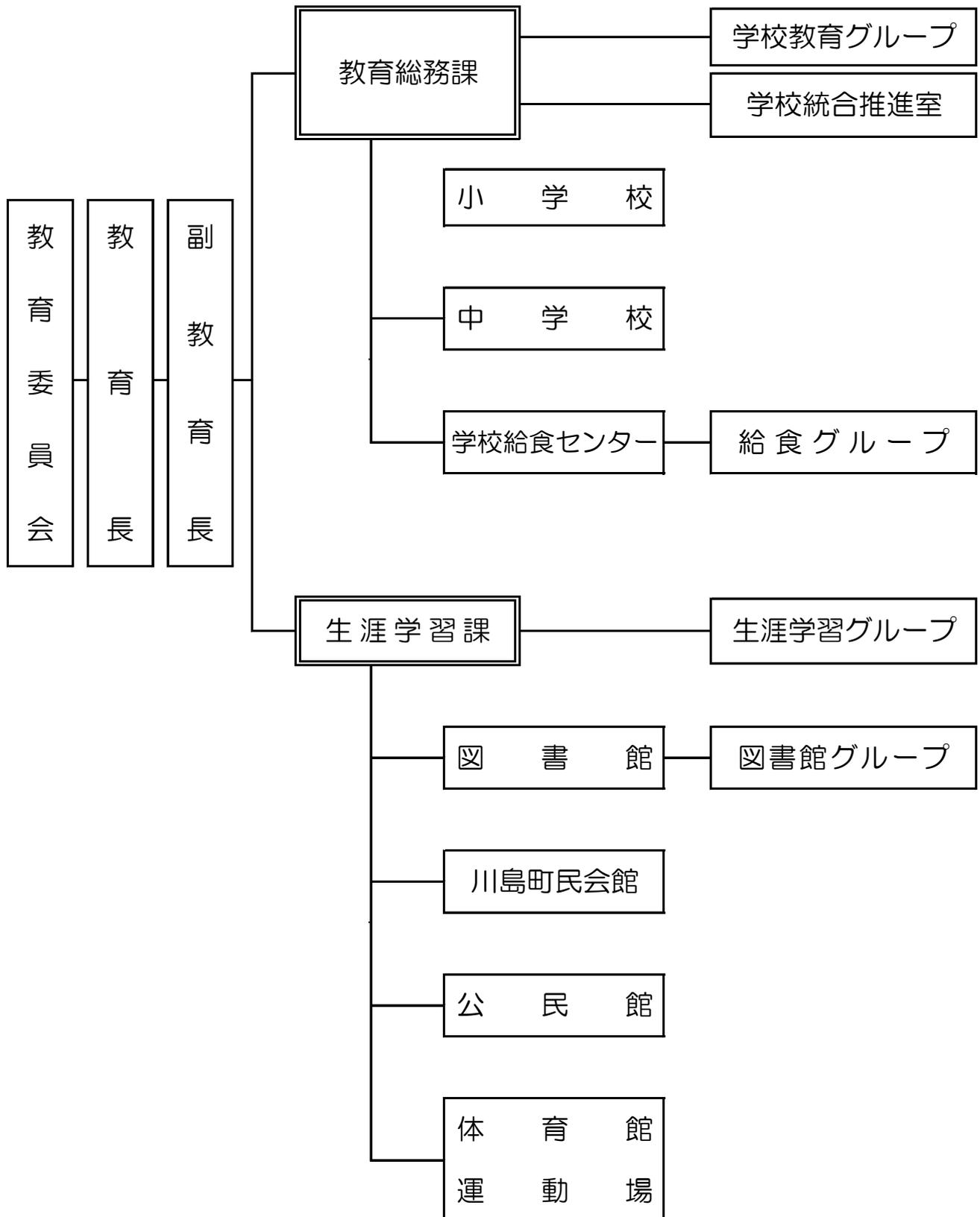
2) 文化財保護審議会の活動

- ◇文化財保護審議会による調査活動
- ◇新たな町指定文化財の検討

教育委員会事務局 事務分掌

課 名	担 当 名	事 務 分 掌		
教育総務課	学校教育 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会議 ・委員会職員人事 ・予算決算の統括 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則の制定改廃 ・所管の調査統計 ・重要施策及び諸計画の調整 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育施設の使用 ・教育財産の総括管理 ・教育施設の営繕 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事・サービス・研修 ・生徒指導 ・学級編制 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒教職員の保健及び安全 ・児童生徒の就学援助 ・児童生徒の就学 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合の計画及び実施 ・学校の設置及び廃止 ・通学区域 		
	給 食 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の調理 ・給食の運搬 	<ul style="list-style-type: none"> ・食器の洗浄消毒 ・給食施設、調理器具の管理 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター運営委員会の会議 ・給食費の徴収 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・給食材料の購入 ・給食材料の品質検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食材料の需要申請 ・物資納入業者の管理 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成 ・衛生管理指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応 ・栄養関係諸報告 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の企画調整 ・社会教育関係団体の育成指導 ・文化芸術の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級講座の開催・援助 ・公民館の管理運営
		生涯学習課	生涯学習 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護、調査、保存管理及び活用 ・文化財の指定及び解除 ・文化財保護思想の普及
<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進計画 ・人権教育指導者研修・育成 ・人権教育講演会、研修会の開催 				
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ推進 ・スポーツ教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設管理運営 ・社会体育の指導、助言、奨励 			
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理 ・図書館奉仕 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集整理保存 ・読書普及 			
図書館 グループ				

教育委員会事務局の機構



学 校 概 要

中山小学校

『憧れいっぱいの子 感動いっぱいの子 チャレンジいっぱいの子』

校長 笛木 哲
 教頭 山崎 清美

・所在地 川島町大字中山 1333
 ・電話 049 - 297 - 0029
 ・FAX 049 - 297 - 8411



児童・学級数の現況
 (平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	① 44	2
2年生	① 50	2
3年生	⑤ 43	2
4年生	63	2
5年生	① 55	2
6年生	54	2
特別支援学級	8	2
合計	317	14

※丸数字は、特別支援学級児童

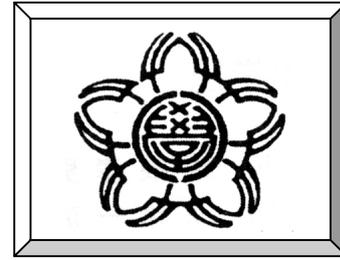
教育目標	重点
<p>やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい</p> <p>やる気いっぱい (憧れ・夢) ・目を見て話を聞く子 ・自分の思いや考えが言える子 ・めあてをもって学び、よく考える子</p> <p>やさしさいっぱい (感動) ・元気にあいさつ、返事ができる子 ・人のよさがわかり、誰にでも思いやりをもって接する子 ・助け合い、高め合い、進んで働く子</p> <p>元気いっぱい (チャレンジ) ・腰骨をのばす子 ・ねばり強く最後までやりとげる子 ・元気で生活し、外遊び、運動が好きな子</p>	<p>(1) 基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。 ①指導方法の改善・・・教える教師から育てる教師へ ②少人数体制による授業の推進 ③家庭学習の定着 ④自ら学ぶ教師が、学ばせうる教師</p> <p>(2) 健康・安全教育を推進する。 ①業間休み・昼休みは、校庭での外遊びを確保することで活力ある生活習慣の定着 ②登下校では「飛び出さない」「広がらない」を継続的に指導 ③健康観察の重視と、早くきめ細かな対応</p> <p>(3) 言語活動の充実を図る。 ①読書活動による読書の楽しさ ②音読・朗読の充実 ③全教科領域で体験を通じて「言葉の力」の育成</p> <p>(4) 学校の特色を大切にす。 ①中規模校ならではの有効的な指導を実現する ②特別支援学級との日常的な交流活動を大切にする ③縦割り活動を通して異学年交流を図り、互いのよさを知り心の交流を図る ④地域人材・保護者の積極的な活用を図る</p> <p>(5) 信頼される学校を目指す。 ①人と人、心の通い合う学校 ②児童にとって最も安全で、快適な、環境の整った学校 ③いじめをしない、ゆるさない学校 ④保護者との連携を密にし、信頼関係の構築 ⑤学童との連携を密にし、課題のある児童の共通理解を図る等の指導の一体化</p>
学校研究課題	「成就感・達成感を味わえる算数指導のあり方」

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 6年 9月	興風学校開校
明治22年 4月	中山学校と改称
明治25年 4月	中山尋常小学校と改称
明治43年 6月	校舎新築
昭和25年10月	校舎新築
昭和34年10月	校旗、校歌制定
昭和40年 7月	プール竣工
昭和54年 3月	校舎改築、屋内運動場新築
昭和58年 2月	校舎増築
平成 3年 4月	南校舎新築
平成11年10月	校舎、体育館大規模改造及び耐震補強工事
平成18年 3月	校舎西・体育館側防球ネット設置
平成19年 2月	校舎北側東西門扉改修工事
平成20年 9月	校舎北側駐車場改修工事
平成22年 2月	デジタルテレビの設置・太陽光発電設備設置
平成23年 9月	普通教室エアコン設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成26年 9月	校舎非構造部材耐震化工事

伊草小学校

『感動いっぱい 憧れいっぱい チャレンジいっぱい 伊草っ子』

- 校長 鍋谷 正則 ・所在地 川島町大字伊草 238-1
 教頭 嵐口 均 ・電話 049 - 297 - 0049
 ・FAX 049 - 297 - 8412



児童・学級数の現況
(平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	41	2
2年生	① 50	2
3年生	51	2
4年生	41	2
5年生	③ 49	2
6年生	② 57	2
特別支援学級	6	2
合計	295	14

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かがやく子ども</p> ○ やさしさいっぱい（徳育） ○ 学びいっぱい（知育） ○ かいっぱい（体育）	◎ い 〈いつも明るく楽しい学校〉 ◎ く 〈クラスで高め合い、学び合う学校〉 ◎ さ 〈最高の仲間とともに、健康な心と体をはぐくめる学校〉 ◎ こ 〈子ども一人一人が主人公になる学校〉 ◎ う 〈美しく、安全な学校〉
学校研究課題	「児童が主体的に学ぶ国語科指導の研究」

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 7年 4月	伊草学校創立大聖寺を校舎に充用
明治 9年 5月	角泉学校創設慈眼院を校舎に充用
明治22年 5月	町村制施行と共に伊草及び角泉、安塚、飯島を併せて伊草尋常小学校設置
明治35年10月	現在地に校舎新築
昭和41年 7月	校舎新築・プール竣工
昭和48年 3月	校旗、校歌制定
昭和53年 3月	校舎新築、屋内運動場新築
昭和58年 3月	南校舎新築
平成 2年11月	伊草小PTA文部大臣賞受賞
平成 8年 2月	開校120周年記念式典挙行
平成14年 4月	文部科学省・埼玉県教育委員会学力向上フロンティアスクール研究指定(平成14～16年度)
平成17年12月	新校舎竣工
平成18年 2月	落成記念式典挙行
平成19年 3月	体育館竣工
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成24年 8月	太陽光発電設備設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成26年 9月	校舎非構造部材耐震化工事
平成26年11月	プール改修工事

三保谷小学校

『一人一人が生き生きと輝く三保谷小』

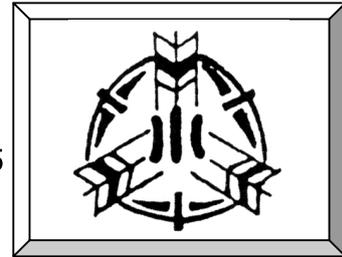
校長 五島 アツ子

教頭 若林 幸治

・所在地 川島町大字白井沼 945

・電話 049 - 297 - 0077

・FAX 049 - 297 - 8413



児童・学級数の現況

(平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	① 11	1
2年生	7	1
3年生	① 16	1
4年生	② 13	1
5年生	① 10	1
6年生	9	1
特別支援学級	5	2
合計	71	8

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>◎教育理念 人皆に美しき種子あり</p> <p>～子供たちは一人一人がよさや可能性を秘めたかけがえのない存在であり、それぞれの持ち味を生かし育てる教育を展開する～</p> <p>一人一人が生き生きと輝く三保谷小</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしく（徳） ○ かしく（知） ○ たくましく（体） <p>「目指す学校像」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・教職員が生き生きとし、活気あふれる学校（笑顔） ○ 学ぶ楽しさ 学ぶ喜びのある学校（学び） ○ 安全で潤いのある学校（潤い） ○ 家庭・地域から信頼される学校（信頼） 	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導の充実・学習の躰の徹底 (2) 豊かな心の育成 (3) 運動大好きな子の育成 (4) 安全で潤いのある学校づくり (5) 人権教育・特別支援教育の充実 (6) 開かれた学校づくりの推進
<p>学校研究課題</p>	<p>自ら学ぶ力を育てる算数科指導</p> <p>～基礎基本を生かし、自らの考えを伝え学び合う児童の育成～</p>

学校沿革の概要	
明治19年 3月	稲田、三保谷、白井沼、角泉、表の5校を合併して大字繁竹に五明校として開設
明治23年 2月	校名を三保谷校として開設
明治25年 11月	三保谷尋常小学校と改称
明治43年 3月	校舎新築
昭和40年 7月	プール竣工
昭和43年 11月	校舎新築、校旗、校歌制定
昭和55年 4月	屋内運動場新築
平成 2年 3月	開校百年記念式典挙行
平成13年 7月	校舎、体育館大規模改造及び耐震補強工事
平成13年 9月	オーストラリア親善訪問団受け入れ
平成14年 11月	飼育小屋改築、鉄棒付け替え
平成15年 2月	南及び西校門門扉設置
平成16年 4月	文部科学省 道徳教育推進校指定（平成16～17年度）
平成18年 1月	児童生徒の心に響く道徳教育推進事業研究発表会
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成24年 12月	太陽光発電設備設置
平成25年 9月	校庭改修工事 体育館非構造部材耐震化工事
平成26年 9月	校舎屋根改修工事
平成27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事

出丸小学校

『学校力を高め、地域とともに歩む出丸小』

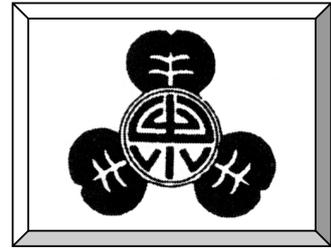
校長 柳澤 睦夫

教頭 小林 進

・所在地 川島町大字上大屋敷 100

・電話 049 - 297 - 0074

・FAX 049 - 297 - 8414



児童・学級数の現況
(平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	8	1
2年生	13	1
3年生	13	1
4年生	① 9	1
5年生	19	1
6年生	① 15	1
特別支援学級	2	1
合計	79	7

※丸数字は、特別支援学級児童

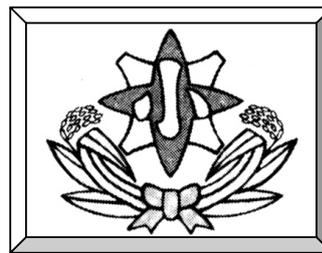
教育目標		重点
笑顔・元気・感動あふれ郷土を愛せる出丸っ子 ○ なかよく (思いやりのある子) ○ かしくく (自ら学ぶ子) ○ げんきよく (進んできたえる子)		(1) 生きる力の育成・確かな学力の定着 (2) 元気で、心豊かで思いやりのある児童の育成 (3) 豊かな体験活動の推進 (4) 保護者・地域・社会の願い、期待に応える教育の推進 (5) 専門性、人間性を高める職員研修の充実
学校研究課題		「一人一人のよさや可能性を引き出し伸ばす国語科指導」
学 校 沿 革 の 概 要		
明治 6年 12月	出丸中郷横塚常光寺に出丸中郷小学校創設	
明治 13年 12月	出丸中郷小学校を由之学校と称し本校とする	
明治 18年 8月	第1分校独立し、比企郡第1学区暢養学校となる	
明治 20年 9月	本校と第1分校を統合、第1学区尋常小学校出丸小学校を開校	
明治 25年 10月	出丸尋常小学校と改称	
明治 43年 10月	現在地に校舎新築	
昭和 39年 8月	プール竣工	
昭和 51年 6月	校舎新築	
昭和 54年 3月	屋内運動場新築	
平成 2年 4月	県社会福祉協力校として指定(3年間)	
平成 8年 8月	校舎大規模改造及び耐震補強工事	
平成 10年 4月	学校緑化推進校として指定	
平成 15年 3月	校門、門扉新設	
平成 15年 8月	校庭改修、浄化槽改修	
平成 16年 9月	オーストラリア訪問団ホームステイ交流事業と実施	
平成 17年 4月	彩の国バイオニアスクールとして指定(1年間)	
平成 18年 11月	埼玉県小学校体育連盟委嘱授業研究発表会	
平成 19年 7月	屋内体育館耐震補強・大規模改造工事、パソコン(20台)の新機種導入	
平成 22年 2月	デジタルテレビの設置	
平成 23年 4月	特別支援学級新設	
平成 23年 9月	普通教室にエアコン設置	
平成 24年 12月	太陽光発電設備設置	
平成 25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事	
平成 26年 9月	図書室・音楽室にエアコン設置	
平成 27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事	

ハッ保小学校

『元気いっぱい、生き生きと活動する学校』

校長 岡部 玲子
 教頭 鈴木 泰生

・住所 川島町大字畑中 31
 ・電話 049 - 297 - 0064
 ・FAX 049 - 297 - 8415



児童・学級数の現況
 (平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	18	1
2年生	5	1
3年生	18	1
4年生	8	1
5年生	10	1
6年生	15	1
合計	74	6

教育目標	重点								
<p>《学校像》 元気いっぱい、生き生きと活動する学校</p> <p>《めざす児童像》 気づき、考え、チャレンジする元気なハッ保っ子</p> <p>《学校教育目標》 ○ かしこく ○ なかよく ○ たくましく</p>	<p>教職員</p> <p>(1) 基礎・基本の定着と学力向上の推進 (2) 個に応じたきめ細かな教育の推進 (3) 学級経営の改善と充実及び一人一人が大切にされる人権教育の推進 (4) 安全で、美しく潤いのある教育環境整備 (5) 学校・家庭・地域との連携 (6) 職員研修の充実</p> <p>児童</p> <p>◎ 八つの行動目標</p> <table> <tr> <td>1 話をよく聞き、考える子</td> <td>5 助け合い、高め合い、進んで働ける子</td> </tr> <tr> <td>2 自分の思いをしっかりと言える子</td> <td>6 笑顔で元気にあいさつができる子</td> </tr> <tr> <td>3 自分のめあてを持って学習する子</td> <td>7 ねばり強く最後までやりとげる子</td> </tr> <tr> <td>4 友達のよいところを見つけられる子</td> <td>8 元気で生活し、運動が好きな子</td> </tr> </table>	1 話をよく聞き、考える子	5 助け合い、高め合い、進んで働ける子	2 自分の思いをしっかりと言える子	6 笑顔で元気にあいさつができる子	3 自分のめあてを持って学習する子	7 ねばり強く最後までやりとげる子	4 友達のよいところを見つけられる子	8 元気で生活し、運動が好きな子
1 話をよく聞き、考える子	5 助け合い、高め合い、進んで働ける子								
2 自分の思いをしっかりと言える子	6 笑顔で元気にあいさつができる子								
3 自分のめあてを持って学習する子	7 ねばり強く最後までやりとげる子								
4 友達のよいところを見つけられる子	8 元気で生活し、運動が好きな子								
学校研究課題	「自ら進んで問題解決する児童を育てる算数科指導」 ～自立、協働を通して算数を創造できる児童の育成～								

学校沿革の概要	
明治 7年 5月	善福寺に仮校舎として創立
明治 15年 9月	成立南学校と改称
明治 22年 4月	従来の学校を廃し、ハッ保学校を設置し、校舎は善福寺を充用
天正 元年 10月	現在地に校舎新築
昭和 22年 4月	ハッ保村立ハッ保小学校と改称 ハッ保中学校併設
昭和 41年 5月	川島幼稚園を併設
昭和 45年 5月	校舎新築
昭和 55年 12月	屋内運動場新築
平成 2年 10月	開校百年記念式典挙行
平成 11年 9月	オーストラリア親善訪問団受け入れ
平成 14年 9月	大規模改修及び耐震補強工事
平成 18、19年	幼・保・小連携推進事業研究協力校に指定・発表
平成 21年 1月	学校応援団に係る学校公開
平成 22年 2月	デジタルテレビの設置
平成 23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成 24年 11月	埼玉県小学校体育授業研究協力校に指定・発表
平成 24年 12月	太陽光発電設備設置
平成 25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 25年 11月	シラコハト賞受賞（彩の国コミュニティ協議会）
平成 26年 2月	体力向上優良校受賞（埼玉県教育委員会）
平成 27年 2月	体力向上優良校受賞（埼玉県教育委員会）
平成 27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事
平成 28年 2月	体力向上優良校受賞（埼玉県教育委員会）

小見野小学校

『元気いっぱい、笑顔いっぱいの学校』

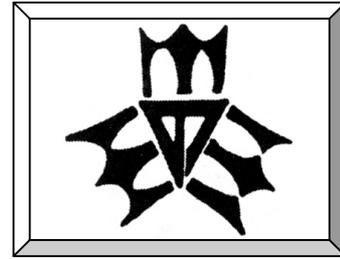
校長 関口 昭彦

教頭 野本 章

・所在地 川島町大字谷中 99

・電話 049 - 297 - 0076

・FAX 049 - 297 - 8416



児童・学級数の現況

(平成28年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	14	1
2年生	18	1
3年生	10	1
4年生	15	1
5年生	21	1
6年生	13	1
合計	91	6

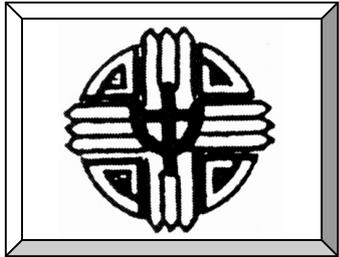
※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>○ なかよく</p> <p>・笑顔あられる明るい子</p> <p>○ かしこく</p> <p>・学力の基礎・基本を身につけている子</p> <p>○ 生き生きと</p> <p>・心身ともにたくましい子</p>	<p>教育目標の具体化への筋道</p> <p>(1) 豊かな心の育成《なかよく》</p> <p>①学校行事の充実</p> <p>②全教育活動を通じた人権教育</p> <p>③ノーマライゼーションの理念に基づいた教育の充実</p> <p>④人間関係の醸成</p> <p>(2) 確かな学力の向上《かしこく》</p> <p>①基礎的基本的内容の習得</p> <p>②分かりやすい授業づくり</p> <p>③学習環境及び学級生活の改善</p> <p>④家庭学習の定着</p> <p>(3) 体力の向上、健康の保持《生き生きと》</p> <p>①外遊びの奨励</p> <p>②体育授業の充実</p> <p>③安全指導</p> <p>④食育の充実</p> <p>⑤小1プロブレム、中1ギャップの解消</p>
学校研究課題	「考え、話し合い、学び合う算数科の学習」

学校沿革の概要	
明治 6年 9月	学制により、法鈴寺及び善福寺に於いて小学校教育を始め、成立学校と称す。
明治23年 4月	大字谷中に本校舎を新築
昭和 3年 3月	現在地に校舎新築
昭和40年10月	プール竣工
昭和47年10月	校舎新築
昭和57年 2月	屋内運動場新築
平成 2年 3月	築山造成
平成 3年12月	開校百周年記念式典挙行
平成 5年 8月	校舎大規模改造工事
平成16年 2月	校庭改修、トイレ改修
平成20年 8月	校舎大規模改修工事・太陽光発電設備設置
平成21年 8月	屋内運動場大規模改修工事
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成24年 4月	特別支援学級「あおぞら」新設
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成26年 8月	遊具改修工事
平成27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事

川島中学校

『文武両道！川島中 — 夢・感動・絆のある学校 —』
 校長 大野 喜裕 ・所在地 川島町大字白井沼 230
 教頭 金子 佳正 ・電話 049 - 297 - 0112
 ・FAX 049 - 297 - 0398



生徒・学級数の現況
 (平成28年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1年生	② 92	3
2年生	104	3
3年生	③ 75	3
特別支援学級	5	2
合計	274	11

※丸数字は、特別支援学級生徒

教育目標	重点
<p>教育は、未来をつくる展望のもと、憲法、教育基本法、学習指導要領の趣旨を基礎とし、生徒の心身の発達と特性に配慮する教育を施し、人間形成における基礎的能力の伸長を図る。</p> <p>このため、知育・徳育・体育の調和を図り、新しい時代を主体的に生きていくことができるよう、自ら学び自ら考える力をもち、自立心にあふれた生徒の育成に努める。</p> <p>知性をみがき 心温かで たくましい生徒の育成</p>	<p>教師・生徒の生活指針 ・礼を正し ・場を清め ・時を守る</p> <p>・本年度の重点</p> <p>(1) 確かな学力の育成 ①授業規律の確立と基礎基本の定着 ②補充学習、家庭学習の充実 ③体験的な学習、問題解決的な学習の充実</p> <p>(2) 生き生きとした学校生活の創造 ①道徳の時間の充実 ②積極的な生徒指導・教育相談による問題行動の予防といじめ0・不登校0 ③学校行事の充実と学年学級での居場所づくり ④勉強と部活動の両立により、進路を切り開く生徒の育成</p> <p>(3) 心なごむ教育環境の整備・充実 ①師弟同行の掃除指導と緑化活動の推進 ②「きれい 静か 潤い」のある環境づくり ③安全教育の推進と安全安心な環境づくり</p>
学校研究課題	<p>「学級におけるよりよい人間関係の構築」 ～誰もが自由に意見を言い合うことができる学級づくりを目指して～</p>

学校沿革の概要	
昭和33年 9月	三保谷、ハッ保中学校を統合して川島中学校となりハッ保に分教場を置く。
昭和33年 11月	新校舎起工式挙行
昭和34年 4月	伊草、小見野中学校を廃止、川島中学校に統合し両校分教場となる。
昭和35年 4月	中山、出丸中学校を廃止、川島中学校に統合。本校舎竣工
昭和36年 1月	校舎第二期工事竣工
昭和36年 4月	分教場を廃止し、全生徒を収容。9月30日を「開校記念日」に制定。
昭和37年 2月	校旗、校歌制定
昭和37年 3月	屋内運動場新築
昭和37年 7月	プール竣工
昭和61年 3月	屋内運動場改築
平成 8年 3月	校舎改築
平成14年 11月	県・町教育委員会委嘱「豊かな心と体を育む学校給食」研究発表
平成18年 8月	コンピューター教室改装、ウインドウズXP対応パソコン導入
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成22年 11月	川島中統合50周年記念事業記念式典挙行
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事

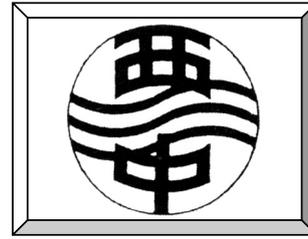
西中学校

「認め合う・磨き合う・高め合う」学校

校長 神山 晴光 ・所在地 川島町大字中山 270-1

教頭 小野川 和史 ・電話 049 - 297 - 2427

・FAX 049 - 297 - 2437



生徒・学級数の現況

(平成28年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1年生	① 101	3
2年生	② 89	3
3年生	① 95	3
特別支援学級	4	2
合計	289	11

※丸数字は、特別支援学級生徒

教育目標	重点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学ぶ ○ 思いやる ○ 体を鍛える <p>目指す学校像 「認め合う・磨き合う 高め合う」学校</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な知識及び技能の習得、活用を図る指導方法と評価の工夫改善 2 豊かな心を育む道徳教育の充実とボランティア活動の充実 3 生徒指導体制の確立と教育相談活動の充実 4 集団や社会の一員としての自覚を深める特別活動の推進 5 生徒理解に基づく進路指導・キャリア教育の推進 6 全教育活動を通しての人権教育の推進 7 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
学校研究課題	<p align="center">「心豊かにたくましく生きる力を育てる道徳教育」 ～自他を大切に、自立した生活を送ることのできる生徒の育成～</p>

学 校 沿 革 の 概 要	
平成 3年 10月	校名制定
平成 4年 4月	起工式
平成 4年 11月	校章制定
平成 5年 3月	校舎・体育館完成
平成 5年 4月	川島中学校より分離開校
平成 5年 6月	プール竣工
平成 5年 12月	校歌制定
平成 6年 2月	6月7日を開校記念日に制定。
平成 10年 8月	第28回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成 11年 8月	第29回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成 14年 11月	創立10周年記念式典
平成 16年 6月	「平成16年度中学生奉仕社会体験活動推進事業」県教委委嘱
平成 17年 4月	「平成17年度彩の国バイオニクススクール」県教委指定
平成 19年 4月	「生徒指導研究推進事業」町教委指定
平成 22年 2月	デジタルテレビの設置
平成 22年 6月	校庭改修工事
平成 23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成 24年 6月	埼玉県教育委員会委嘱「教育に関する3つの達成目標」の推進に関する研究
平成 25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 27年 4月	埼玉県教育委員会委嘱「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり研究推進校」
平成 27年 5月	川島町教育委員会委嘱「生徒の社会性育成を目指したスキル教育と道徳教育を関連させた学習活動の工夫」
平成 27年 9月	太陽光発電設備設置・蓄電池設備設置

学 校 施 設

(1) 校 地 (平成28年5月1日現在)

単位：㎡

校地 学校名	校地			合 計	屋外運動場 1人当たり 面 積
	建物敷地	屋外運動場	その他		
中山小学校	8,057	5,003		13,060	15.8
伊草小学校	7,150	7,301		14,451	24.7
三保谷小学校	5,055	6,033		11,088	85.0
出丸小学校	6,983	5,657		12,640	71.6
八ッ保小学校	4,593	7,400		11,993	100.0
小見野小学校	9,347	9,561		18,908	105.1
計	41,185	40,955		82,140	44.2
川島中学校	13,499	11,702	2,631	27,832	1,063.8
西中学校	12,925	13,939		26,864	1,267.2
計	26,424	25,641	2,631	54,696	1,165.5
学校給食以外	3,757			3,757	

★ … 借地

(2) 校 舎 (平成28年5月1日現在)

単位：㎡

建物 区分 学校名	保 有 建 物 面 積							
	一 般 校 舎					屋 内 運 動 場		
	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計	1人当 面積	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	1人当 面積
中山小学校	4,623	34		4,657	14.7	1,019		3.2
伊草小学校	4,218			4,218	14.3	902		3.1
三保谷小学校	1,685	46		1,731	24.4		733	10.3
出丸小学校	1,923	28		1,951	24.7		761	9.6
八ッ保小学校	1,706			1,706	23.1		733	9.9
小見野小学校	1,648		219	1,867	20.5		740	8.1
計	15,803	108	219	16,130	17.4	1,921	2,967	5.3
川島中学校	5,941	52		5,993	544.8		1,269	115.4
西中学校	6,656			6,656	605.1	1,937		176.1
計	12,597	52	0	12,649	575.0	1,937	1,269	145.7
学校給食以外		1,327		1,327				

児童・生徒数一覧

小学校 (平成28年5月1日現在)

学 年		1	2	3	4	5	6	特	計
校 名									
中山小	児童数	① 44	① 49	⑤ 44	63	① 55	54	8	317
	級数	2	2	2	2	2	2	2	14
伊草小	児童数	41	① 50	51	41	③ 49	② 57	6	295
	級数	2	2	2	2	2	2	2	14
三保谷小	児童数	① 11	7	① 16	② 13	① 10	9	5	71
	級数	1	1	1	1	1	1	2	8
出丸小	児童数	8	13	13	① 9	19	① 15	2	79
	級数	1	1	1	1	1	1	1	7
八ッ保小	児童数	18	5	18	8	10	15	0	74
	級数	1	1	1	1	1	1	0	6
小見野小	児童数	14	18	10	15	21	13	0	91
	級数	1	1	1	1	1	1	0	6
合 計	児童数	② 136	② 142	⑥ 152	③ 149	⑤ 164	③ 163	21	927
	級数	8	8	8	8	8	8	7	55

※丸数字は特別支援学級児童

中学校 (平成28年5月1日現在)

学 年		1	2	3	特学	計
校 名						
川島中	生徒数	② 90	104	③ 75	5	⑤ 274
	級数	3	3	3	2	11
西中	生徒数	① 101	② 89	① 95	4	④ 289
	級数	3	3	3	2	11
合 計	生徒数	③ 191	② 193	④ 170	9	563
	級数	6	6	6	4	22

※丸数字は特別支援学級生徒

教 職 員 数

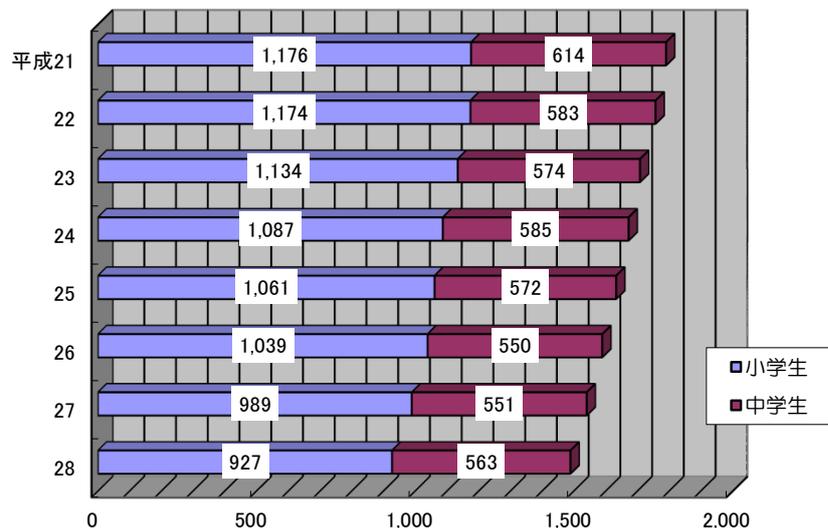
平成28年5月1日現在

(小・中学校)

区分	中山小		伊草小		三保谷小		出丸小		ハッ保小		小見野小		川島中		西中		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
(県費職員)																	
校長	1		1			1	1			1	1		1		1		8
教 頭		1	1		1		1		1		1		1		1		8
主幹教諭		1	1										1				3
教 諭	7	9	8	8	4	6	3	6	4	3	5	3	13	4	12	7	102
助教諭	1	1								0							3
養護教諭		1		1		1		1		1		1		1		1	8
栄養教諭														1			1
事務職員		1		1		1	1		1			1	1		1		8
計	9	14	11	10	5	9	6	7	6	6	7	5	17	6	15	8	141
(町費職員)																	
特支支援員		臨5		臨4		臨3		臨1		臨1		臨1		臨4		臨4	23
さわやか相談員													臨1		臨1		2
校 務 員		臨1	臨1			臨1	臨1			臨1		臨1		臨1		臨1	8
給食補助員		臨1		臨1										臨1		臨1	4
きめ細かい推進事業員													臨1				1
計		7	1	5		4	1	1		2		2	2	6	1	6	38
合 計	30		27		18		15		14		14		31		30		179

※ 臨…臨時職員

児童・生徒数の推移



川島町学校給食センター

1 施設概要

- (1) 所在地 比企郡川島町大字上八ツ林 798-1
- (2) 電話 049 - 297 - 0260 FAX 049 - 297 - 0230
- (3) 建築年 平成 3年 6月
- (4) 建築面積 3,754 m²
- (5) 建築物 鉄骨造一部2階建
 - 1階 1,063.50 m²
 - 2階 174.50 m²
 - 合計 1,238.00 m²
- (6) 給食能力 4,000 食

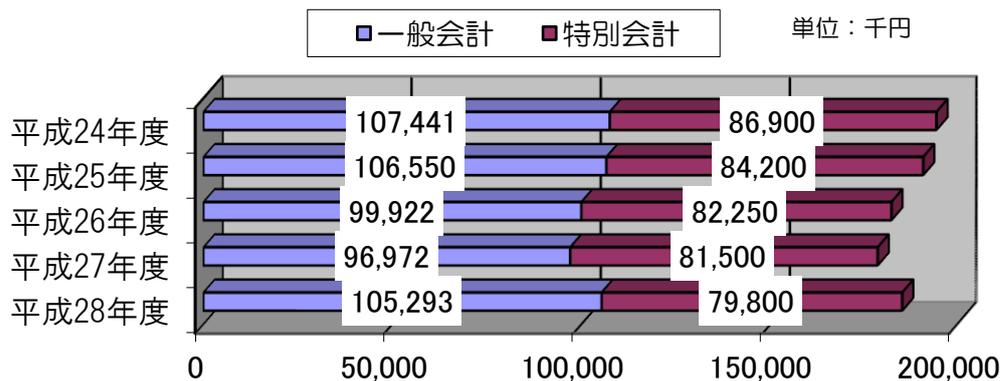
2 運営の基本方針

児童生徒に対して栄養のバランスに配慮した食事を提供し、望ましい食習慣の形成や良き人間関係を育成することなどをねらいとして実施しており、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うことを目的としています。

3 職員

- (1) 常勤職員 10人（うち県学校栄養教諭 1人）
- (2) 委託職員 8人（ボイラー運転・調理・洗浄）

4 学校給食費予算（当初）



5 学校給食人員（平成28年5月1日現在）

- (1) 小学校 1,042 人
- (2) 中学校 622 人
- (3) センター 18 人
- 合計 1,682 人

6 給食費

- (1) 児童1人当たり 月額 4,000 円
- (2) 生徒1人当たり 月額 4,900 円

III 生涯學習

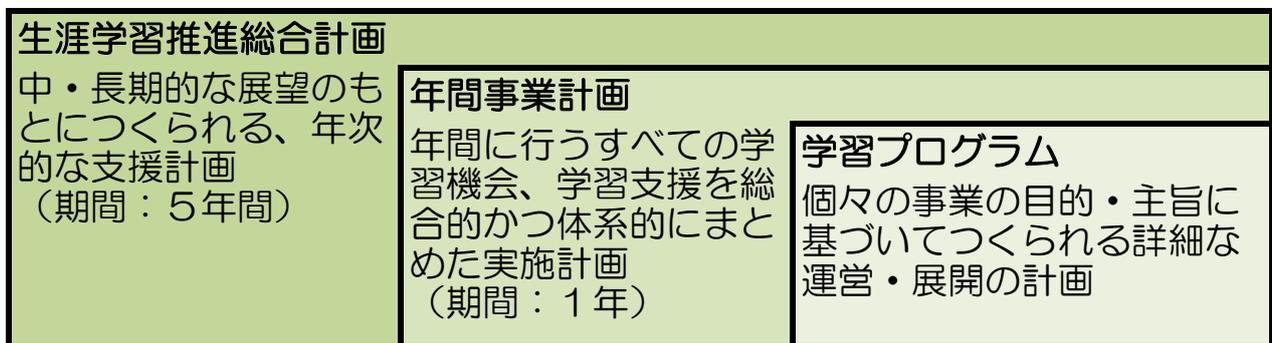
3 生涯学習の施策体系

計画の施策体系は、以下のとおり基本目標、施策、主な取り組みで構成されています。



4 生涯学習推進総合計画と年間事業計画の位置づけ

本計画は、生涯学習に関する諸計画は本計画を最上位計画とし、以下のとおりの構成になっています。本計画の下位計画として、年間事業計画、さらにその下位計画として、学習プログラムが位置付けられます。

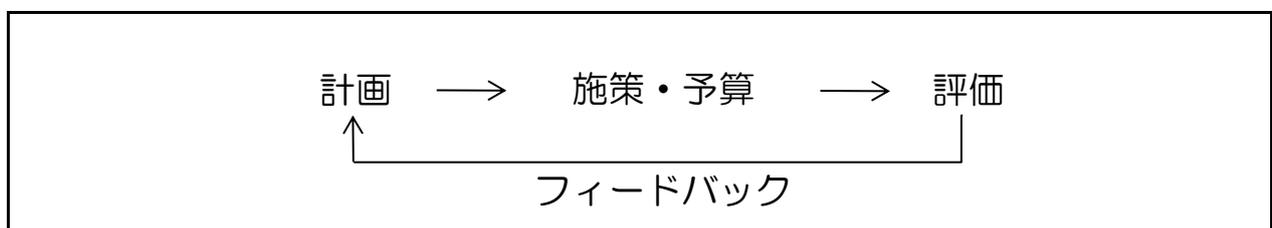


5 年間事業計画設定

年間事業計画は、生涯学習推進総合計画の基本目標から、その年度の重点基本目標を選び、その上で年間事業計画を決定します。具体的な年間事業計画は「サモサッタ」とよばれる冊子で発行するとともに、町ホームページで周知します。

6 事業評価

実際の事業は行政計画に基づいて実施され、結果を評価し、その評価結果をもとに次の計画に反映されます。これまでの川島町の生涯学習への取り組みの実績をさらに向上させるには、事業評価を適切に実施していくことが必要です。評価の方法は、定量（数量）評価および定性（記述）評価、第三者評価等を行い、今後の事業改善に活かせるよう取り組みます。



第5次川島町生涯学習推進総合計画の概要

基本理念

1人ひとりの輝きで
つなげる未来のまちづくり

3つの観点

- 学習活動のきっかけづくり
- 多様な学習機会の提供
- 学びを活かしたコミュニティづくり

基本目標	主要施策	主な取り組み
1 生きがいつくりと多様な学習活動の振興と支援	(1)社会教育委員等の活動推進 (2)社会教育団体の育成と活動支援 (3)生涯学習推進体制の整備 (4)各種教養講座の開催 (5)社会教育施設、教育機関との連携促進	①社会教育委員・生涯学習推進会議の活動推進 ①文化協会・体育協会の活動支援 ②サークル活動団体の育成と支援 ③活動団体の主催する自主講座の開催支援 ④子ども会活動の充実と活動支援 ①学校規模適正化に伴う、空き教室などの有効活用検討 ②コミセン・フラットピア・公民館・図書館の整備 ③学習情報提供 ④学芸員の配置 ⑤社会教育主事と社会教育指導員の配置 ⑥図書館司書の配置 ⑦地区公民館活動の活性化 ①各種教養講座の開催 ①大学・NPO・民間事業者等との連携 ②町外の社会教育施設との連携
2 子どもを育て地域の教育力の向上	(1)異年齢による子どもの体験学習推進 (2)子どもの体験学習指導者の育成・支援 (3)社会教育と学校教育の連携推進	①地域子ども教室・キッズプラザの充実 ②青少年交流事業 ①指導者の発掘 ②指導者養成セミナーの開催 ①学校・PTA・地区公民館・学童保育連携による地域子ども教室の開催 ②学校応援団と地域子ども教室の連携検討 ③図書館と学校の連絡会開催
3 家庭の教育力の向上	(1)子どもの発達に応じた親の学習機会の提供 (2)家庭教育情報の提供 (3)子育て機関の連携および親子の活動機会の提供 (4)家庭の教育力向上のための調査研究	①「親の学習」の開催 ②PTAと連携した家庭教育セミナーの開催 ①広報紙・ホームページを活用した家庭教育情報の提供 ①子育てに関する社会教育・母子保健部門子育て支援センター・保育園子育てサークル等の連携支援 ②親子教室等の開催 ①家庭の教育力向上のための事例研究・調査

<p>4 健康づくりとスポーツ推進</p>	<p>(1)子どもの体力づくり</p> <p>(2)成人期の健康づくり</p> <p>(3)高齢期の健康維持</p> <p>(4)町民の健康増進支援</p>	<p>①スポーツ少年団の活動支援と指導者の育成</p> <p>①ウォーキング・体操などスポーツの普及・充実と、スポーツ・保健・健康部門が連携した事業の実施</p> <p>①介護部門と連携した介護予防教育 ②健康部門と連携した健康教育</p> <p>①健康増進のためのスポーツ教室等開催</p>
<p>5 文化芸術振興と伝統文化の継承</p>	<p>(1)文化・芸術活動の充実</p> <p>(2)文化財の保護・活用</p>	<p>①中央文化展・生涯学習町民ふれあいフェスティバルの充実 ②「文芸かわじま」の充実</p> <p>①新たな町指定文化財への調査・検討 ②既存施設を利用した資料館の整備 ③文化財マップ・案内版・解説資料等の作成 ④古農具・古民具の収集・保管と展示</p>
<p>6 地域社会の変化に対応する学習の推進</p>	<p>(1)男女共同参画に関する学習</p> <p>(2)人権学習</p> <p>(3)国際交流の推進</p> <p>(4)情報化社会に対応する学習</p> <p>(5)ボランティア活動の推進</p> <p>(6)図書館機能を活かした学習支援</p>	<p>①男女共同参画に関する学習機会の充実 ②男性の子育て参加に関する学習の充実 ③男女共同参画に関する情報の提供</p> <p>①人権教育講演会の開催 ②視聴覚メディアの充実</p> <p>①ホームステイの受入・ホストファミリーの確保 ②通訳・語学ボランティアの養成 ③地域における国際交流の推進</p> <p>①パソコン・インターネットに関する講座の開催</p> <p>①人材バンクの充実と活用 ②ボランティアの養成、活動場所の紹介・相談支援 ③成人式実行委員経験者との連携 ④学校応援団、学校ボランティアの充実</p> <p>①課題解決のための情報提供 ②県立及び近隣図書館とのネットワークを活かしたレファレンスサービスの充実 ③本に親しむための学習機会の提供</p>

IV 社会教育

社会教育施設の概要

名称、所在地ならびに連絡先	主 な 施 設	建設年度
川島町コミュニティセンター 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 1,377 m ² ・和室 (2部屋) ・談話室 ・会議室 (3部屋)	昭和55年度
ふれあいセンターフラットピア川島 川島町八幡 6-1-2 TEL 049-297-1117 FAX 049-297-7773	面積 636 m ² ・多目的ホール ・研修室 ・調理室 ・和室	平成10年度
川島町民体育館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 2,475 m ² ・体育館 (アリーナ) 1,134 m ² ・卓球室 148 m ² ・多目的室 148 m ² ・ラジック コース(1周) 130 m	昭和55年度
総合運動場 川島町大字下八ツ林 930 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 24,045 m ² ・運動場 20,895 m ² 野球場 1面、ソフトボール場 2面 照明施設 (野球・ソフト) テニスコート (4面) 3,150 m ²	昭和47 ~ 50年度 ※照明58年度
出丸運動場 川島町大字出丸下郷 1025 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・南運動場 11,289 m ² ・北運動場 10,311 m ² 野球場 (北・南) 1面 ソフトボール場 (南) 2面 ソフトボール場 (北) 2面	昭和59年度
川島町ゲートボール場 川島町大字白井沼 457 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・クレイコート (2面) 1,208 m ²	昭和55年度
川島町武道館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 1,124 m ² ・柔道場 420 m ² ・剣道場 420 m ²	昭和61年度
川島町弓道場 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 231 m ² ・射場 (3人立ち) 63 m ² ・的場 16 m ² ・矢道 151 m ²	平成元年度
かわじま窯 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 79 m ² (鉄骨造・平屋建) ・陶芸窯 1基 ・電動ろくろ 3台	昭和63年度
※川島町民会館 川島町大字下八ツ林 926-1 TEL 049-297-1667 FAX 049-297-6191	総面積 1,994 m ² ・ホール ・アリーナ ・研修室 ・会議室 1 ・会議室 2	昭和61年度

※文化施設

公民館概要

中央公民館 (コミュニティセンター内)

平成28年4月1日現在

所在地		比企郡川島町大字下八ツ林923		TEL 049 - 297 - 1611	
職員		館長 関 吉治 (兼)		主事 倉持 恵子(兼) 齋藤 佑(兼)	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和55年度	
	建物面積	1,377.00㎡	敷地面積	8,000.00㎡	
	駐車場	有	収容台数	200台	
	施設概要	和室①(27畳)、和室②(18畳)、会議室①(100㎡)、会議室②(50㎡)、会議室③(50㎡)、談話室(50㎡)			
	その他特徴的なこと ・コミュニティセンターとの共有施設				
休館日		12月29日～1月3日			
開館時間		8:30～21:00			
運営方針	I. 生きる力と豊かな心に満ちた人間の育成 II. すこやかで明るく、仲良く助け合い、社会に貢献する家庭の育成 III. 人権教育の推進 IV. 町民の健康増進と生涯スポーツの推進 V. 地区公民館とは趣き、規模の異なる事業を開催する。 VI. 地区公民館の連絡調整を行う。				
公民館運営議会	年間開催回数及び審議事項(中央公民館、地区公民館共通の委員) 開催回数 年6回 審議事項 ・公民館事業計画及び予算について ・公民館事業や公民館運営に関する諸問題について ・その他				
館運営の基本方針 ・中央公民館は町民の要請に沿った広範な事業を開催する。 また、地区公民館の連絡調整を行う。					
事業の特徴(館として特に力を入れていること) ・青少年の健全育成を目標として、様々な体験学習の機会を提供する地域子ども教室を開催しており、また、親子や高齢者等が気軽に参加できる様々な事業も取り入れている。					

平成28年度の主な事業（中央公民館）

事業名	対象	時期
スマートフォン活用講座	一般 (60歳以上の方)	未定
生涯学習町民ふれあい フェスティバル	一般	平成28年11月3日(木)
中央文化展	一般 小中学生 幼稚園・保育園	平成28年10月28日～11月3日
成人式	平成7年4月2日から 平成8年4月1日 までに生まれた方	平成29年1月8日(日)
「むさしの国」 ふるさと文学散歩	一般	平成28年5月27日(金)
ふるさと歴史講座	//	2月
地域子ども教室	小学生	5月～3月(6地区×12～13回)
夏の体験学習 サマフェス☆2016	小学生とその 保護者・一般	平成28年7月23日(土)・24日(日)

中山公民館

所在地	比企郡川島町大字中山 1317-1			TEL 049 - 297 - 1802
職員	館長 矢部 英男		主事 神田 勉	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 46年度
	建物面積	365.98 m ²	敷地面積	1,900.00 m ²
	駐車場	有	収容台数	30 台
	施設概要	1階和室（33畳）、2階会議室（約77m ² ）、調理室		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を通じた共助体制構築と情報発信で、地域の防災能力の向上と活性化を図る。 ・地域の方々が集まりやすい公民館事業の展開をする。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り大会、地区体育祭、文化敬老祭を三大事業として、それぞれに地域住民を中心とした実行委員会を組織し、誰もが気軽に楽しく参加できる事業を推進する。 				

伊草公民館

所在地	比企郡川島町大字伊草 230			TEL 049 - 297 - 0004
職員	館長 鹿山 日出男		主事 池野谷 賢司	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	旧館 昭和 48年度 新館 平成 2年度
	建物面積	旧館 363,42m ² 新館 257,56m ²	敷地面積	1,606.66 m ²
	駐車場	有	収容台数	25 台
	施設概要	旧館：1階和室（27畳）、2階会議室（約77m ² ）、調理室 新館：1階和室（48畳）、2階会議室①（約46m ² ） 会議室②（約43m ² ）		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な公民館開放を行い、コミュニティの育成に努め、生涯学習の拡充を図る。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能の保存に力を入れ、文化祭等ではその発表の場を提供している。 				

三保谷公民館

所在地		比企郡川島町大字白井沼 907	TEL 049 - 297 - 0175
職員		館長 石原島 恒夫	主事 佐藤 栄
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度 昭和 62年度
	建物面積	466.25 m ²	敷地面積 2,730.00 m ²
	駐車場	有	収容台数 40台
	施設概要	和室(24畳)、和室(10畳) 大会議室(約130m ²)、小会議室(約30m ²)	
館運営の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方が公民館を拠点の場とし、参加しやすい事業展開をする。 			
事業の特徴(館として特に力を入れていること)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生け花教室、山野草展、文化祭を開催し、地域の文化活動の拠点としている。 ・盆踊り大会、地区体育祭、ふる里敬老芸能祭の事業に対し、一人でも多くの地域住民の方が参加できるよう事業推進する。 			

出丸公民館

所在地		比企郡川島町大字上大屋敷 144-1	TEL 049 - 297 - 0010
職員		館長 井上 義道	主事 笹岡 留義
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度 昭和 48年度
	建物面積	338.80 m ²	敷地面積 1,500.00 m ²
	駐車場	有	収容台数 50台
	施設概要	1階和室(30畳)、2階会議室(約90m ²)、調理室	
館運営の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の学習要求にこたえられるような事業を推進する。 			
事業の特徴(館として特に力を入れていること)			
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成地域の集いを実施し青少年の育成に努める。 ・各種使用団体が当番を決め奉仕的に清掃活動を実施している。 			

八ッ保公民館

所在地		比企郡川島町大字畑中 341	TEL 049 - 297 - 0008	
職員		館長 大久保 道夫	主事 深谷 達夫	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 50年度
	建物面積	352.80 m ²	敷地面積	2,000.00 m ²
	駐車場	有	収容台数	90 台
	施設概要	1階和室（30畳）、2階会議室（約90m ² ）、調理室		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりと生涯学習の拠点となるべき事業を推進する。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級 ・スポーツ大会等を実施し愛好者を通じてコミュニティの育成に努める。 				

小見野公民館

所在地		比企郡川島町大字谷中 251-1	TEL 049 - 297 - 1801	
職員		館長 戸森 始	主事 山口 孝夫	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 54年度
	建物面積	406.93 m ²	敷地面積	1,888.00 m ²
	駐車場	有	収容台数	50 台
	施設概要	1階和室（33畳）、2階会議室（約70m ² ）、調理室		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点として、だれでも、いつでも、学習できるように運営する。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り大会・敬老芸能大会・文化祭 ・茶道・着付教室等を取り入れ、地域の文化活動の拠点としている。 				

川 島 町 立 図 書 館

1 施設概要

(1) 本館

- ・所在地 比企郡川島町大字下八ツ林 901
- ・電話 049 - 297 - 6030 FAX 049 - 297 - 6060
- ・開館年 昭和 61年 9月
- ・建物 鉄筋コンクリート 2階建て 871 m²

2 利 用

(1) 登録

- ・川島町に住んでいる方、通勤・通学している方、団体
比企広域市町村圏内、川越都市圏内まちづくり協議会の広域市町在住者

(2) 貸出冊数

- ・個人 10 冊
- ・団体 100 冊

(3) 期間

- ・個人 2週間
- ・団体 3週間

3 運営の基本方針

図書館は、町民の求める図書資料を正確迅速に提供していくと共に、常に新しい情報の図書資料を備え、文化と生活の向上に役立つよう努める。

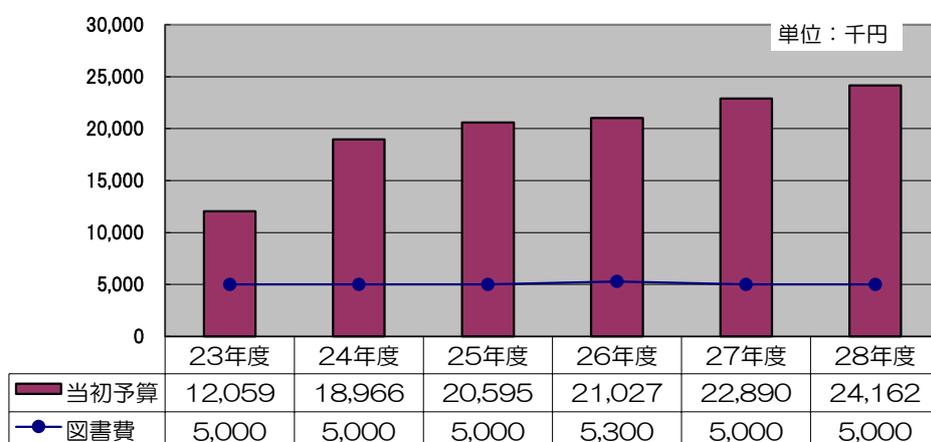
4 平成28年度の重点施策

- (1) 図書館利用の推進 (各種事業による図書館利用の推進)
- (2) 児童サービスの充実 (児童図書の整備・学校との連携)
- (3) 資料提供体制の充実 (社会情勢や利用者ニーズに沿った資料の収集)

5 職 員

館長、副館長、職員1名、その他(臨時2名 業務委託4名)

6 図書館予算



※ 23年度については、22年度予算を繰越明許しているため、図書費は当初予算に含まれていません。

7 蔵書統計（平成28年3月31日現在）

	平成27年度		
一般書	73,491冊	AV	2,805点
児童書	38,195冊	新聞	7紙
合計	111,686冊	雑誌	67誌

8 図書館利用統計（平成27年度開館日数 288日）

入館者数 (人)	貸出数				合計 (点)	リクエスト (件)
	一般書	児童書	雑誌	AV		
29,350	38,925	67,165	4,958	2,063	113,111	3,352

9 活動指標

(1) 登録率

$$\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100 = \frac{12,388\text{人}}{20,957\text{人}} \times 100 = 59.1\%$$

※町外登録者1,014人

(2) 1日平均貸出冊数

$$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{開館日数}} = \frac{113,111\text{点}}{288\text{日}} = 392.7\text{冊}$$

※団体貸出分含む

(3) 町民1人当たり蔵書冊数

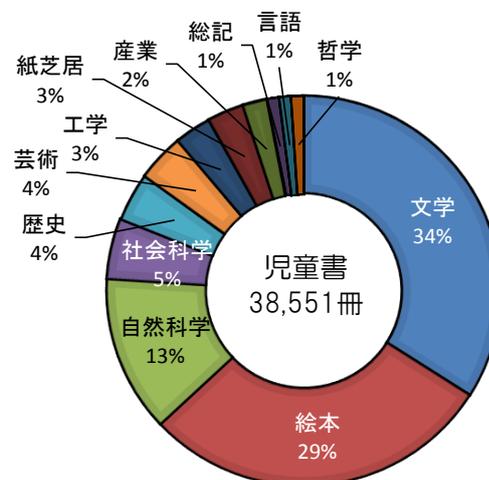
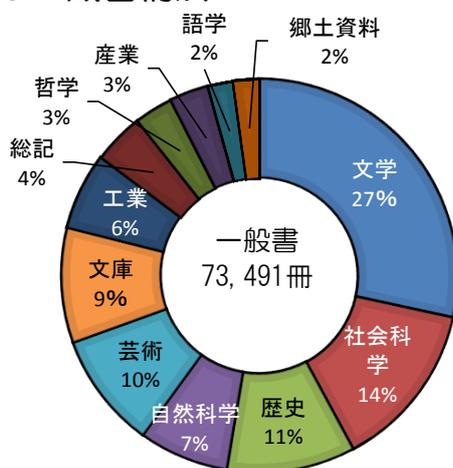
$$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}} = \frac{111,686\text{冊}}{20,957\text{人}} = 5.3\text{冊}$$

(4) 人口一人当たり図書費

$$\frac{\text{27年度図書費}}{\text{人口}} = \frac{5,500\text{千円}}{20,957\text{人}} = 262.4\text{円}$$

※人口は、平成28年4月1日現在

10 蔵書構成



11. 平成28年度 事業予定

事業名	対象	時期
おはなし会	乳幼児・児童 保護者	毎月第1火曜日 毎月第2火曜日 毎月第4日曜日
ブックスタート	乳児・保護者	4・5ヶ月乳児健診時
朗読ボランティア研修	朗読ボランティア	4月23日
こどもの読書週間イベント 「この本ど〜こだ?」	小学生	4月23日～5月12日
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせボランティア	未定
「地域子ども教室」に出向 き利用促進	小学生	5月～8月
夏休み自由研究・宿題サポート	小学生	7月21日～22日 7月26日～29日
読書マラソン	小学生	9月～12月
ブックリサイクル	一般	11月3日
クリスマス子どものつどい	4歳以上	12月17日
ブックリサイクルの常設展 示コーナーの設置	一般	通年
図書館だより	一般 児童 企業	毎月（広報かわじまに掲載） 毎月（小学生全員に配布） 年4回（25社）
図書館カレンダー	一般	年4回
テープ図書吹き込み、貸出	視覚障害者	毎月
団体貸出	小学校・保育園 幼稚園・学童	随時



夏休み自由研究・宿題サポート



ブックリサイクル

文化財の一覧

種 別	名 称	所有者又は管理者	
◎	建 造 物	廣 德 寺 大 御 堂	廣 德 寺
◎	絵 画	紙 本 著 色 三 十 六 歌 仙 切 (頼基) 佐 竹 本	(公財) 遠山記念館
◎	工 芸 品	秋 野 蒔 絵 手 箱	(公財) 遠山記念館
◎	書 跡	寸 松 庵 色 紙 伝 紀 貫 之 筆	(公財) 遠山記念館
◎	書 跡	源 頼 朝 筆 書 状	(公財) 遠山記念館
◎	絵 画	絹 本 著 色 春 靄 起 鴉 図	(公財) 遠山記念館
◎	絵 画	絵 本 着 色 布 晒 舞 図 英 一 蝶 筆	(公財) 遠山記念館
○	絵 画	叔 悦 禅 師 頂 相	養 竹 院
○	絵 画	紙 本 着 色 達 磨 図 信 方 印	養 竹 院
○	絵 画	絹 本 着 色 太 田 資 頼 像	養 竹 院
○	古 文 書	道 祖 土 家 文 書	個 人 所 有
□	古 文 書	小 美 濃 郷 検 地 帳	個 人 所 有
□	民俗文化財	道 祖 神	八 幡 神 社
□	歴史的資料	算 額	光 西 寺
□	工 芸 品	鰐 口	薬 師 堂 保 存 会
□	彫 刻	地 蔵 菩 薩 立 像	個 人 所 有
□	民俗文化財 (無形)	伊 草 獅 子 舞	伊 草 獅 子 舞 保 存 会
□	彫 刻	薬 師 如 来 坐 像	薬 師 堂 保 存 会
□	考古資料	石 棺	川 島 町
□	彫 刻	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	西 見 寺
□	彫 刻	木 造 聖 観 音 坐 像	正 泉 寺
□	彫 刻	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	金 剛 寺
○	県選定重要 遺跡・史跡	稻 荷 塚 古 墳 群	川 島 町
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)東棟	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)中棟	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)西棟	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)土蔵	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)長屋門	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)庭門	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)裏門	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)茶室本席	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)茶室寄付待合	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)茶室雪隠	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)茶室腰掛待合	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)外塀	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物	遠山記念館(旧遠山家住宅)内塀	(公財) 遠山記念館

※ 種類の凡例 指定区分／ 国指定重要文化財は「◎」
 国登録有形文化財は「◇」
 県指定有形文化財は「○」
 町指定有形文化財は「□」

※ くわしくは「ふるさとの文化財」参照

川島町 スポーツ少年団 一覧

No.	団体名	活動種目	活動場所
1	中山スポーツ少年団	バレーボール・サッカー	中山小体育館・グラウンド
2	伊草スポーツ少年団	バレーボール・サッカー	伊草小体育館 道場橋グラウンド
3	三保谷スポーツ少年団	サッカー	防災基地グラウンド
4	出丸剣道スポーツ少年団	剣道	出丸小体育館
5	八ッ保スポーツ少年団	剣道	川島町武道館
6	柔道スポーツ少年団	柔道	川島町武道館
7	川島ライオンズスポーツ少年団	野球	防災基地グラウンド
8	JJF KIDS&PAMASスポーツ少年団	バスケットボール	町民体育館

川島町体育協会加盟団体一覧

No.	団体名	代表者
1	野 球 連 盟	馬場 武男
2	ソフトボール連盟	鈴木 克史
3	バレーボール連盟	神田 隆
4	バドミントン連盟	馬橋 俊男
5	インディアカ連盟	清水 友二
6	サ ッ カ ー 協 会	牛村 貞彦
7	ソフトテニスクラブ	道祖土義之
8	剣 道 連 盟	為谷 健一
9	柔 道 会	町田 文夫
10	空 手 道	沢田 和夫
11	少 林 寺 拳 法 会	杉山 進
12	ほなみ会（民踊）	福島 道子
13	ゴ ル フ 協 会	川島 和春
14	ス キ ー 連 盟	野澤 経雄
15	卓 球 連 盟	佐々木義文

No.	団体名	代表者
16	グラウンド・ゴルフ連盟	岡部 巖
17	合気道川島町同好会	馬場 孝師

川島町文化協会加盟団体一覧

No.	団体名	代表者
1	川島町書道愛好会	飯島和子
2	川島町陶芸クラブ	三澤 靖子
3	ぬのしり写友会	岡部 俊夫
4	川島俳句連盟	小山内 敏
5	アマチュア無線クラブ	江藤 英男
6	墨 絵 ク ラ ブ	宇津木アイ
7	川島町絵画愛好会“遊画”	小田 秀春
8	合 唱 連 盟	大森 朋子
9	川島町郷土愛好会	渡辺 寛

V 教育関係役職員

教育委員会委員

歴代教育長(旧制度)

氏名	就任年月日	退任年月日
※鈴木 達二	昭和29.11.5	昭和30.4
※関 紋次郎	30.5	30.9
神田 泰吉	31.10.1	43.9.30
鈴木 三郎	43.10.5	47.9.30
小高 登	47.10.13	53.9.12
三角 覚治	54.4.2	57.9.30
神山 壬一	57.12.1	62.9.30
加藤 静一	62.10.2	平成7.9.30
関口 武	平成7.10.12	11.10.3
遠山 武司	11.10.14	14.3.31
新井 保美	14.4.2	16.12.31
丸山 一男	17.3.24	23.10.3
富田 三千彦	23.10.4	27.10.3

※事務取り扱い

歴代教育長(新制度)

氏名	就任年月日	退任年月日
中村 正宏	平成27.10.4	現在に至る

歴代委員

氏名	就任年月日	退任年月日
飯野 武久	昭和29.11.5	昭和30.11.2
猪鼻 清寿	29.11.5	30.11.2
竹谷 堯	29.11.5	30.11.2
片山 政吉	29.11.5	30.11.2
岡安 源一郎	29.11.5	30.11.2
矢部 顕一	29.11.5	30.11.2
岡部 胤雄	29.11.5	30.11.2
竹谷 堯	31.10.1	32.9.30
関口 政治	31.11.1	35.9.30
井上 明広	31.11.1	34.4.25
矢部 顕一	31.11.1	33.9.30
神田 泰吉	31.10.1	43.9.30
牛村 茂	32.10.1	36.9.30
長沢 亀寿	33.10.1	37.9.30
矢部 一男	34.5.26	34.9.30
斉藤 丈七	34.10.1	38.9.30
小久保 嘉市	35.10.1	39.9.30
石田 徳治	36.10.1	40.9.30
牛村 茂	37.10.1	41.9.30
長沢 亀寿	38.10.1	42.9.30
小高 登	40.10.1	53.9.12
石田 徳治	41.10.1	45.9.30
牛村 茂	42.10.1	46.9.30
竹谷 淑	43.10.1	50.3.31
鈴木 三郎	43.10.1	51.9.30
若山 富作	44.10.1	48.9.30
山口 泰正	46.10.1	50.4.14
鹿山 鉄郎	47.10.1	55.9.30
吉田 三郎	50.4.14	52.9.30
吉川 亮輔	51.10.1	55.9.30
道祖土 武	52.10.1	56.9.30
島田 恭男	54.10.1	57.1.25
三角 覚治	54.4.2	57.9.30
畔見 勇夫	55.10.1	57.9.30
高橋 竹雄	55.10.1	59.9.30
持木 清	56.10.1	60.9.30
神山 壬一	57.4.2	62.9.30
根岸 甫	57.10.1	63.9.30

歴代委員

氏名	就任年月日	退任年月日
小 峯 政 治	57.11.5	61.11.4
長谷部 武 治	59.10.1	63.9.30
品 川 孝 雄	60.12.10	平成元.12.9
富 田 國 治	61.12.25	2.12.24
加 藤 静 一	62.10.2	7.9.30
永 井 隆 明	63.10.1	8.9.30
鈴 木 茂 文	63.10.1	8.5.4
利根川 宇 平	平成元.12.13	5.12.12
臼 井 賢 一	2.12.25	6.1.28
笛 木 豊 彦	5.12.13	9.12.12
岡 野 久 男	6.3.8	10.12.24
関 口 武	7.10.4	11.10.3
神 田 勝	8.6.11	12.9.30
梶 野 賀一郎	8.10.1	12.9.30
梅 澤 喜 一	9.12.18	13.12.17
宇津木 一 雄	11.3.18	15.3.17
遠 山 武 司	11.10.4	14.3.31
細 野 常 重	12.10.1	14.3.31
小 島 由 之	12.10.1	16.9.30
山 口 榮 一	13.12.18	17.12.17
新 井 保 美	14.4.1	16.12.31
古 橋 ヒサ工	14.6.13	15.10.3
渡 辺 美嗣子	15.3.18	19.3.17
丸 山 一 男	15.10.4	23.10.3
町 田 伊勢男	16.10.1	20.9.30
宇津木 達	17.3.18	20.9.30
関 光 一	17.12.18	21.12.17
篠 崎 久 子	19.3.18	23.3.17
長 島 常 雄	20.10.1	24.9.30
小 島 小百合	20.10.1	24.9.30
矢 部 勲	21.12.18	25.12.17
鈴 木 喜久雄	23.4.1	27.3.31
富 田 三千彦	23.10.4	27.10.3
深 谷 邦 彦	24.10.1	現在に至る
大 野 美寿代	24.10.1	現在に至る
菊 池 建 太	25.12.18	現在に至る
福 島 彰	27.4.1	現在に至る

歴代委員長(平成27年10月3日以前)

氏名	就任年月日	退任年月日
猪 鼻 精 寿	昭和29.11.5	昭和30.11.2
竹 谷 堯	31.10.1	32.9.30
矢 部 顕 一	32.10.1	33.9.30
関 口 政 治	33.10.1	35.9.30
牛 村 茂	35.10.1	36.9.30
長 沢 亀 寿	36.10.1	37.9.30
斉 藤 丈 七	37.10.1	38.9.30
小久保 嘉 市	38.10.1	39.9.30
石 田 徳 治	39.10.1	40.9.30
牛 村 茂	40.10.1	41.9.30
石 田 徳 治	41.10.1	45.9.30
牛 村 茂	45.10.1	46.9.30
竹 谷 淑	46.10.1	47.9.30
若 山 富 作	47.10.1	48.9.30
山 口 泰 正	48.10.1	50.9.30
鹿 山 鉄 郎	50.10.1	55.9.30
道祖土 武	55.10.1	56.9.30
島 田 恭 男	56.10.1	57.1.25
高 橋 竹 雄	57.2.1	59.9.30
持 木 清	59.10.1	60.9.30
小 峯 政 治	60.12.16	61.10.31
根 岸 甫	61.11.1	62.9.30
長谷部 武 治	62.10.1	63.9.30
品 川 孝 雄	63.10.1	平成元.9.30
富 田 國 治	平成元.10.1	平成2.9.30
永 井 隆 明	2.10.1	5.9.30
鈴 木 茂 文	5.10.1	8.5.4
岡 野 久 男	8.6.11	9.2.25
笛 木 豊 彦	9.2.26	9.12.12
神 田 勝	9.12.19	10.12.18
梶 野 賀一郎	10.12.22	12.9.30
梅 澤 喜 一	12.10.1	13.9.30
宇津木 一 雄	13.10.3	15.3.17
小 島 由 之	15.3.18	16.9.30
山 口 榮 一	16.10.1	17.9.30
渡 辺 美嗣子	17.10.1	18.9.30
宇津木 達	18.10.1	19.9.30
町 田 伊勢男	19.10.1	20.9.30
関 光 一	20.10.24	21.12.17
篠 崎 久 子	21.12.18	23.3.17
長 島 常 雄	23.3.18	24.9.30
矢 部 勲	24.10.1	25.12.17
鈴 木 喜久雄	25.12.18	27.3.31
深 谷 邦 彦	27.4.1	27.10.3

教育行政関係役員一覽

町

町	長	飯島和夫
副町	長	若林昌善

社会教育委員

学校教育関係	岡部玲子
家庭教育関係	藤田千春
社会教育関係	榎本康治
	笛木清
	椎橋厚子
	鈴木貞美
	沼田茂
学識経験者	高橋実
	青山鉄兵
	鈴木健

公民館運営審議会委員

学校教育関係	鍋谷正則
社会教育関係	岡部俊夫
	佐藤菊江
家庭教育関係	野口久美子
	島田信子
学識経験者	青山鉄兵

幼・小・中・PTA会長

連合PTA	堀越正幸
中山小学校	関根由希江
伊草小学校	井出絵美
三保谷小学校	井上貴広
出丸小学校	小久保英二
八ッ保小学校	根岸智仁
小見野小学校	山田知治
川島中学校	嶋村栄
西中学校	高橋悦子
とねがわ幼稚園	今井奈津子

スポーツ推進審議会委員

関係行政機関	牛村貞彦
	阿部洋行
学識経験者	矢部勝宏
	遠藤康子
	松本寿美子
	加藤俊夫

その他関係団体

子ども会連絡協議会	矢内秀憲
-----------	------

教育委員会委員

教育長	中村正宏
教育長職務代理者	深谷邦彦
委員	大野美寿代
委員	菊池建太
委員	福島彰

文化財保護審議会委員

学識経験者	利根川徹
	久保木彰一
	金子直行
	横山普一
	永井真也
	田中敦子

文化財保護専門調査員

中山	町田進
	野澤茂男
伊草	猪鼻美孝
	山元秀春
三保谷	飯野明昌
	松本二三男
出丸	遠藤光男
	谷嶋忠雄
八ッ保	永野重男
	斉藤孝之
小見野	鈴木晴三
	箕輪弘

スポーツ推進委員

中山	阿部洋行
	小島小百合
	岡部宏之
伊草	鈴木春美
	野口正東
	芝崎孝志
三保谷	清治里臣
	藤崎恵美子
	有川寿夫
出丸	南義明
	神山幸和
	黒岡正和
八ッ保	松本和也
	畠山巧
小見野	林博之
	神田巳智郎

図書館協議会委員

学校教育関係	小学校	柳澤 睦夫
	中学校	大野 喜裕
社会教育関係	社会教育委員	高橋 実
	公民館運営審議会委員	岡部 俊夫
学識経験者	学校ボランティア	小林 玲子
家庭教育関係	家庭教育ボランティア	小林 紀子

学校給食センター運営委員会委員

中山小学校長	笛木 哲
伊草小学校長	鍋谷 正則
三保谷小学校長	五島 アツ子
出丸小学校長	柳澤 睦夫
八ッ保小学校長	岡部 玲子
小見野小学校長	関口 昭彦
川島中学校長	大野 喜裕
西中学校長	神山 晴光
中山小学校PTA代表	遠藤 めぐみ
伊草小学校PTA代表	根本 愛弓
三保谷小学校PTA代表	矢部 晴美
出丸小学校PTA代表	小久保 英二
八ッ保小学校PTA代表	工藤 理恵子
小見野小学校PTA代表	杉山 由恵
川島中学校PTA代表	松崎 志奈
西中学校PTA代表	喜多 由美
東松山保健所長	遠藤 浩正
校医代表	有馬 なぎさ
識見者（商工会長）	尾崎 宗良
識見者（民生委員・児童委員協議会長）	亀田 緑
公募による町民	田平 ひろみ

生涯学習推進会議委員

1号委員	石川 征郎
	後藤 務
	鍋谷 正則
	大野 喜裕
	笛木 清
	利根川 徹
	矢部 英男
	中嶋 和雄
	尾崎 宗良
	堀越 正幸
	小島 孝
2号委員	本澤 貞夫
	阿部 洋行
3号委員	倉持 幸子
	遠藤 克弥
	飯島 和夫
	深谷 邦彦
	中村 正宏
	石島 一久

学校教育各種委員会委員

学校名等	学校教育推進員	就学支援委員	児童生徒体力向上推進委員
中山小学校	井上 法好	◎ 笛木 哲 半田 北斗	○ 山崎 清美 三村 博紀
伊草小学校	田島 智有貴	新井 雅代	原 一 芳
三保谷小学校	◎ 五島 アツ子 松本 信昭	竹下 定子	小林 裕也
出丸小学校	斎藤 和雄	村上 かやの	乙川 竜太
八ッ保小学校	吉田 温	森田 こず枝	諏訪 幸市郎
小見野小学校	横山 大輔	秋山 和登	齊木 裕樹
川島中学校	○ 金子 佳正 杉山 清	高山 晴行	◎ 関口 昭彦 齋藤 晋也
西中学校	加藤 早苗	○ 神山 晴光 大野 実	青柳 陽亮
子育て支援課 (保育主管課)		課長 渡辺 英夫	
保健センター		保健師 石川 まり子	
けやき保育園		栗田 富美子	
さくら保育園		杉浦 浩美	
清水こどもクリニック		専門医師 清水 勝則	
ハロークリニック		専門医師 新井 克己	
とねがわ幼稚園		学識経験者 小林 紀子	
県立川島ひばりが丘 特別支援学校		学識経験者 松原 弘美	

★ 問合せ先 ★

川島町教育委員会 平成28年7月発行

〒350-0192

埼玉県比企郡川島町大字下八ツ林870番地1

教育総務課 TEL 049-299-1730
FAX 049-297-8410

E-Mail Address gakkou@town.kawajima.saitama.jp

生涯学習課 TEL 049-299-1711
FAX 049-297-8410

E-Mail Address syougai@town.kawajima.saitama.jp

川島町マスコットキャラクター



かわみん



かわべえ